

# 「地域の縁がわ」熊本モデル事業 (健軍くらしささえ愛工房)

## 熊本県

人口：1,852,073人

面積：7,405.21 km<sup>2</sup>

### 平成18年度事例集、2項No13掲載事例

#### 取組の概要

県営健軍住宅に福祉サービスの拠点を整備し、企画提案公募により選ばれた NPO 法人「おーさぁ」が、地域住民、ボランティア等とのパートナーシップにより、高齢者福祉、障がい者福祉、子育て支援、ニート対策、ボランティア人材育成など総合的、かつ先駆的な地域福祉サービスのモデルづくりを行っている。

#### 取組の紹介

##### 1 その後の状況

- 健軍商店街や、地域住民、ボランティア等による新しい地域福祉システムの構築を目指した研究会「健軍地域福祉塾」において、健軍地域に求められていることを徹底的に話し合った結果、不登校など、悩みを持つ若者達の居場所がないという課題があることがわかった。そこで健軍商店街の協力により空き店舗を活用して、平成18年7月に「夢・サポート健軍」という若者の居場所をオープン。更にその活動を発展させ、平成19年5月には厚生労働省からニート就業支援の委託事業として、「くまもと若者サポートステーション」を開設。常駐スタッフを置き、必要に応じ、臨床心理士やキャリアカウンセラーによる専門相談を実施し、スキルアップセミナー等各種セミナーも開催している。



健軍商店街の中に「くまもと若者サポートステーション」を開設（平成19年5月）

- ・ この健軍くらしささえ愛工房での取組は、地域福祉サービスのモデルとしてだけでなく、地域住民や商店街を巻き込んだ「福祉でまちづくり」という地域コミュニティの再生や地域活性化の先駆的なモデルとして、ここで得られたノウハウやサービスの仕組みを、公共施設、空き店舗、空き教室等の地域資源を活かした取り組みとして県内への普及を図っている。

## **2 前回からの取組効果**

- ・ 介護保険や障がい者福祉における制度サービスだけでなく、健軍地域の商店街や地域住民、ボランティア等との支え合いの仕組みづくりに取り組む「福祉のまちづくり」（地域の縁がわづくり）として全国からも注目されており、これまで（平成19年度末）の視察者は延べ1,810名、208団体となり、他府県議会や行政等からの視察も相次いでいる。
- ・ 子育て親子の利用登録者は400名を超え、1日の利用者も25名程度あり、子育て親子利用者同士の交流も活発になってきている。
- ・ 健軍くらしささえ愛工房におけるボランティア講座の受講生が、縁がわサポーターとして縁がわづくり活動を展開しており、地域住民が参加するクリスマス会や、絵画や絵はがき等障がい者の作品展示会の開催、誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気作りのための装飾や植栽など、自主的に活動されるようになった。
- ・ 新たに開設された「くまもと若者サポートステーション」においては、毎月160名程度の来所者や電話相談に応じており、うち30名が進路を決定。14名の就職につながられた。

## **3 新たな課題・問題点**

- ・ 閉じこもり単身者世帯、障がい児・者や認知症高齢者の介護等の困難な家庭など、地域の要援護者の発見と支援のコーディネート（制度で支援できない場合は、専門機関と協力してNPO・ボランティア、地域住民を巻き込みながら新たに支え合いの仕組みを作り出すなど）を行う際により専門的で高度な取組が必要となってきている。
- ・ 健軍くらしささえ愛工房での成果を県内市町村や地域の縁がわづくりへ取り組む団体へ普及させるための取組として、視察・研修の受け入れや取組状況の情報発信、フォーラムの開催等実施してきているが、さらに効果的で実践的な普及・推進の手法について検討している。

## **4 住民（職員）の反応・評価**

- ・ 子育て親子利用の登録者数が、前年度比2倍となり、今後も増える傾向にある。
- ・ 介護、子育て、障がい者支援等福祉相談については、前年度比2倍に増えている。

## 5 今後取り組む自治体に向けた助言

- ・ 健軍くらしささえ愛工房については、県営健軍団地の建替えに合わせ、県が新たに建物を整備しているが、廃校等使われなくなった旧小・中学校等校舎や空き店舗等を地域資源として活用していくことで、コストダウンと地域再生を図ることができると思われる。
- ・ 地域のニーズを把握しながら、そこから出てきた地域課題の解決のために地域住民自らが取り組む仕組み（体制）づくりが重要と考える。
- ・ 健軍くらしささえ愛工房においては、その整備にあたっては、地域住民へのアンケート調査を行い、また地域住民も参加する健軍地域福祉塾を開催する中で、地域課題の把握とその解決へ向けた取組みの創出を行っている。その取組みの創出の際には、行政で取り組むこと、地域で取り組むこと等の役割分担の中で、地域住民ボランティアが主体的に取り組む支え合い活動につながっている。

### (参考) 当該取組内容の関連ホームページ

○熊本県地域福祉推進のためのホームページ

<http://www.pref.kumamoto.jp/health/fukushisuishin/index.htm>

○けんぐんひろば

<http://www.kengun.net/>

**担当部署：健康福祉政策課福祉のまちづくり室**